

平成14年 5月29日
記者発表資料

平成13年度ダイオキシン類調査結果について

1 調査内容

藤沢市では、市内のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、平成12年度に引きつづき河川24地点、排水路5地点、底質6地点、土壌4地点のダイオキシン類濃度の調査を、河川と排水路及び底質については2回、土壌については1回実施しました。結果は次のとおりです。

2 調査結果

- (1) 河川水(平均値): 0.075 ~ 0.83 pg-TEQ/L (平均値 0.26 pg-TEQ/L)
- (2) 排水路(平均値): 0.053 ~ 3.8 pg-TEQ/L (平均値 0.96 pg-TEQ/L)
- (3) 底質(平均値): 0.060 ~ 6.0 pg-TEQ/g (平均値 2.1 pg-TEQ/g)
- (4) 土壌: 1.4 ~ 13 pg-TEQ/g (平均値 6.7 pg-TEQ/g)

3 まとめ

(1) 平成12年度に引きつづき実施した境川水系・小出川・目久尻川の河川及び引地川水系の河川では、環境基準値(1 pg-TEQ/L以下、年間平均値)を下回っていました。

(2) 排水路の内、引地川水系の一色川に排出する雨水排水路の1地点で環境基準値を超えました。この地点は、平成12年度に神奈川県が実施した調査においても環境基準値を超えていました。

今年度についても引き続き調査を実施していきます。

(3) 底質については、環境省が取りまとめた「平成12年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」(1887検体、濃度範囲0.0011~1,400 pg-TEQ/g、平均値9.6pg-TEQ/g)の濃度範囲内でした。

(4) 土壌は4地点で環境基準値(1000 pg-TEQ/g以下)を下回ったほか、ダイオキシン類対策特別措置法において追加的な調査が必要とされている値(250 pg-TEQ/g)も下回っていました。

問い合わせ先

藤沢市 環境部 環境保全課 電話(0466)25-1111(3130~3133) FAX(0466)23-7174
